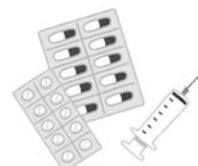


C型慢性肝炎の新しい治療

内科主任部長 上田重彦



C型肝炎ウイルス（HCV）感染は高頻度に慢性肝炎に移行し、肝硬変、さらに肝がんを生じます。HCV感染者は、現在150万人から170万人存在すると言われています。

1992年に抗ウイルス療法としてインターフェロン（IFN）治療が始まりましたが、有効率はその遺伝子型によって差があります。日本人に多い1型においては、IFN単独療法では5〜10%程度でした。有効率を高めるため週に1回投与のIFNが開発され、さらに内服薬との併用療法が導入されました。

しかし、IFN治療には発熱や倦怠感、白血球減少などといった副作用がほぼすべての人にみられ、半年間投与を続ける必要があった患者さんにとっては、非常に負担の大きい治療でした。

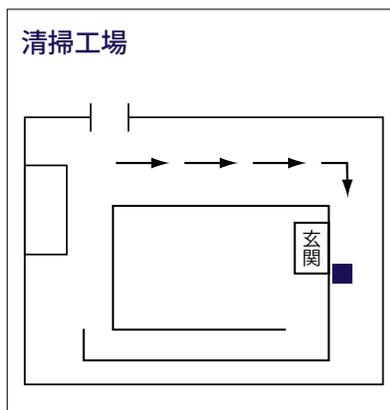
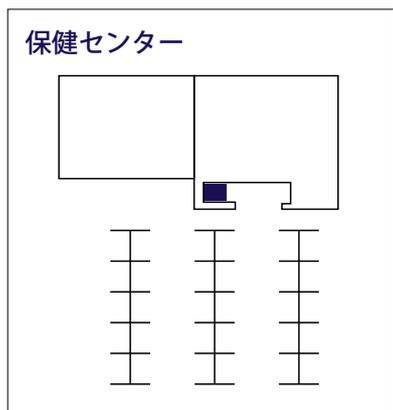
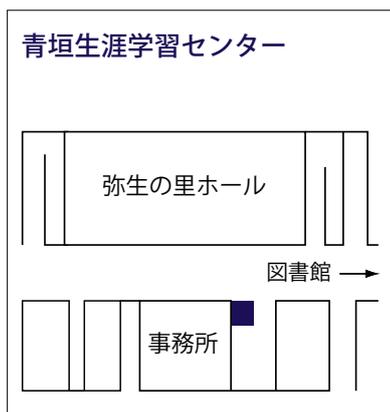
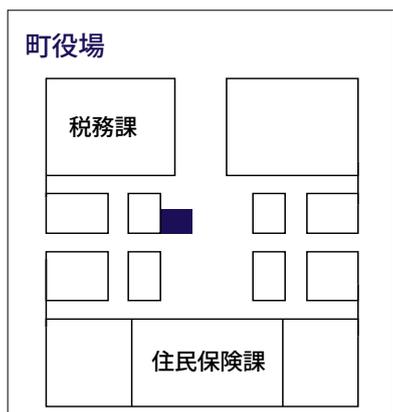
昨年からIFNを使わない内服薬だけの抗ウイルス療法が可能と

なりました。有効率は薬の種類によって異なりますが、おおむね80〜90%と非常に高くなっています。一部の薬には10%前後で肝機能障害の副作用報告がみられますが、IFNにみられたような発熱などもなく、高齢者にとっては負担の小さい薬です。

これらの薬によって、今後、C型慢性肝炎患者さんはさらに減少するものと予想されます。しかし、使用にあたっては腎障害のある人や貧血のある人には使えない薬もあるため、IFN療法が可能な人にはIFN療法も推奨されています。適応や禁忌が複雑であるため、処方できる医師は肝臓専門医に限られます。

当院では複数の肝臓専門医が勤務しています。既に数人のHCV患者さんに治療を開始しており、おおむね良好な治療成績を認めています。C型肝炎と言われている治療を受けていない人や、C型肝炎の検査自体を受けていない人は、一度、病院で相談されることをお勧めします。

使用済み小型家電製品回収ボックスの設置場所



ご協力ありがとうございます。
使用済み小型家電製品回収ボックスの設置場所をお知らせします
 10月1日から開始している使用済み小型家電製品の回収は、皆さんのご協力により順調に回収量を増やしています。

使用済み小型家電製品回収ボックス
 10月1日から開始している使用済み小型家電製品の回収は、皆さんのご協力により順調に回収量を増やしています。
 各施設の詳細設置位置図をご確認ください。このうえ、ご利用ください。

清掃工場（環境管理課） ☎ 33・5003